

## 【音声コマンドを実行する際に、周囲の音を選択的に取り込む AR 機能】 IBM

### ①要約：

このアイデアは AR 技術を使用して音声入力を可視化し、複数の人が単一の AI 音声システムを使って音声コマンドを送信し、混乱を防ぐことを目指しています。

### ②目的：

このアイデアの目的は、複数の人が音声支援システムを利用する際に生じる混乱や誤ったオーダーを防ぐことです。AR グラスを使用して音声入力を可視化し、ユーザーが個別に指定することで、正確なオーダーを行えるようにします。

### ③新規性：

通常の音声入力に加え、AR 技術を組み合わせることで、音声コマンドの可視化と指定を行える独自のシステムです。複数の人が同時に音声入力を行い、それぞれの意図を正確に反映させることが可能です。

### ④独自性：

このアイデアは既存の音声 AI スピーカーに AR グラスを組み合わせることで、音声の混乱や誤ったオーダーを防ぐ独自の解決策を提案しています。ユーザーが AR グラスを使用して音声を可視化し、指定することで、より正確なオーダーを行えます。

### ⑤経済価値：

このアイデアは、音声支援システムの普及や商業利用において経済価値があります。例えば、家庭やオフィスでの利用や、医療現場や生産現場など特定の場面での効果的なコミュニケーションツールとして活用することができます。また、類似の技術やシステムへの特許成立という形で経済的価値を持つ可能性もあります。